

次回の理事会、秋季講演会及び情報交流会は11月19日(水)に開催予定

外食協は、標記理事会等を11月19日(水)に開催することで先月号においてもお知らせしました。
理事会は、①日時:同日13~15時、②場所:KKR HOTEL TOKYO、③議題:(1)平成26年度外食産業フェアの実施報告について(関係支部長報告)、(2)今後の協会運営について(討議)③その他、**秋季講演会**は、①日時:同日15時10分~16時30分、②場所:同ホテル、③演題:「成熟化する食品流通の変革(仮題)」、④講師:(株)野村総合研究所主席コンサルタント 辻 直志氏
情報交流会は、①日時:同日16時40分~18時30分、②場所:同ホテル、10階「瑞宝」の間

食品流通構造改善緊急対策事業の追加募集について

会員企業がコンピューター、冷凍車等を導入する際、導入資金の2/3相当額の無利子融資制度の適用を受けるには、外食協が「食品流通構造改善促進法に基づく構造改善計画」を作成し、農林水産大臣の認定を受け実施することとなっており、平成26年度分については、既に認定実施しているが、会員の企業より追加の希望があれば、年度途中に変更申請を行いますので、ご希望があれば「構造改善計画書」を至急提出下さい。なお、手続きにはかなり時間がかかりますので、導入計画の時期がおおむね12月以降のものに限らせて頂きます。

農林水産省「新しい介護食品」の愛称公募中

農林水産省は、「介護食品の在り方に関する検討会議」の中で、介護食品の利用者は高齢者のみではなく、障害のある子供から高齢者まで幅広いことや、高齢者の介護という言葉が敬遠され「介護食品」という名称に抵抗感や拒否感があることから利用者に受け入れ易い、良いイメージの名称を考える必要がある、との認識に至った。

[愛称に求められる内容]

- ・「新しい介護食品」の利用者に親しみ易く、定着し易いものであること。
- ・名称と実際の食品との乖離が大き過ぎないこと。
- ・従来の介護食品だけを指すのではなく、幅広い新しい分野であることを表現すること。
- ・その主旨が、利用者に対するメッセージにより、利用者がそのメッセージを理解し共感できること。

[愛称の公募期間] 平成26年8月11日~9月16日まで。その他詳細は農林水産省ホームページで

外食産業フェア実施に向け作業順調に進む

外食協は、今年度開催予定の外食産業フェアの作業を、近畿、東海・北陸の2支部において、それぞれ進めており、取り巻く環境が大変厳しい中で、他の機関との集客のためのコラボ等を含め作業は順調に進んでいる。

特に名古屋で開催の第25回 NAGOYA フードビジネスショーは、手狭になった会場を変更し、新しい企画の基に開催を計画しています。両会場への多くの方々のご来場を期待しています。

平成26年度外食産業フェアの開催予定

名称	開催都市	期間	会場
第65回外食産業フェア	大阪市	26. 9. 10(水)~12(金)	インテックス大阪3号館
第25回 NAGOYA フードビジネスショー	名古屋市	26. 9. 2(火)~ 3(水)	名古屋市中小企業振興会館吹上ホール

会員企業の信頼性向上自主行動計画の策定はほぼ終了か?

外食協は、平成20年度から各会員企業が食品の安全・安心に対する消費者ニーズに対応して、「信頼性向上自主行動計画」の策定を推進するよう指導してきたが、現在、会員企業のうち96社が策定済みで、策定済み会員企業に自主申告に基づき、配付している「平成26年度食品品質自主管理推進の会員証(ステッカー)」の配付予定枚数は500枚を用意している。今後とも、配付希望があれば、本部事務局にご請求下さい。また、会員に対しては、同計画の更なる作成の推進を図っていくとともに会員以外の業務用食品の流通業者に対し「信頼性向上自主行動計画」の作成手引きを必要に応じ配付することを検討する。